

科目区分	専門分野	履修学年	2 年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	がん看護学			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1)メディカ出版 成人看護学⑥ 緩和ケア						
テキスト以外の教材・参考書等	1)医学書院 系統看護学講座 がん看護						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>2 人に 1 人が罹患し、死因の 1 位ががんである現代、がん看護に関する知識は看護職に必須である。がんという疾患自体はもちろん、がんの治療にはしばしば苦痛が伴う。治療段階から終末期まで全ての時期に症状緩和の知識と技術が必要となる。本授業では既習の知識を活かし、症状緩和の看護を中心に学ぶこととする。また事例を通し、がん患者を全人的にみるとはどういうことかを学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん自体による症状と治療に伴う症状を理解することができる。 2. 症状緩和技術を知ることができる。 3. トータルペインの視点から患者を理解することができる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：人体の構造と機能,疾病の成り立ちと回復の促進,成人看護方法 I						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	がんとは何か がんのおもな治療法とは 緩和ケア	
2	化学療法、放射線療法と看護	
3		
4	がん性疼痛の緩和	
5	消化器症状(嘔気、腹部膨満感、便秘等)の緩和	
6	呼吸器症状の緩和	
7	リンパ浮腫、マッサージ、補完代替療法	
8	不眠、精神症状(難治性せん妄、抑うつ)	
9	倦怠感、悪液質、鎮静	
10	がん患者の看取りのケア	
11	がんサバイバー	
12	トータルペインの視点から事例を考える	グループワーク
13		
14	発表	
15	終講試験 まとめ解説	